

# 平成29年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,141	5,012	△ 130	(注1)
施設整備費補助金	217	308	91	(注2)
補助金等収入	268	652	384	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	0	
自己収入	2,326	2,352	25	
授業料、入学金及び検定料収入	2,249	2,265	16	(注4)
雑収入	78	87	9	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	833	675	△ 157	(注6)
引当金取崩	0	3	3	(注7)
目的積立金取崩	17	35	18	(注8)
計	8,823	9,058	234	
支出				
業務費	7,485	7,162	△ 322	(注9)
教育研究経費	7,485	7,162	△ 322	
施設整備費	238	329	91	(注10)
補助金等	268	654	386	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	833	688	△ 145	(注12)
計	8,823	8,833	10	
収入-支出	0	224	224	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた次年度への繰越額が増加したことに伴い、予算額に比して決算額が130百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が91百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が384百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初の見込みより志願者数及び入学者数が多かったことに伴い、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として著作権及び特許料収入等が予定より増加したことに伴い、予算金額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より減少したことに伴い、予算金額に比して決算額が157百万円少額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、PCB処理に係る環境対策引当金を取崩したことにより、予算金額に比して3百万円決算額が多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が増額となったため、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算金額に比して決算額が322百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が91百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が386百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が145百万円少額となっています。